

平成18年度実績評価事務事業進行管理表

事務事業名	体育施設改修事業				財務会計上の位置付け	会計	款	項	目	細目	細々目	19予算額(千円)
部等名	教育委員会	課等名	生涯学習・スポーツ課		包含する細々目	1	10	6	2	11	3	5,600
政策	2 地育力によるこころ豊かな人づくり											
施策	26 スポーツの振興											
実施区分	継続	会計	一般会計	環境調整会議		不要						
		事業期間	S36	年度～	年度							
						関連計画	地方自治法(第244条公の施設)、社会教育法(第5条教育委員会の事務)、スポーツ振興法(第12条施設の整備)、長野県都市公園条例、飯田市社会体育施設条例、県民運動広場条例、南信濃B&G海洋センター条例、飯田市風越山麓研修センター条例、飯					

【Do】(1)この事務事業は次の目的を達成することを目指します。

目的の記述	対象(人や物、自然資源など)	対象の大きさを表す対象指標名と単位	対象指標の数値			
	社会体育施設	施設数:(施設)	現状又は19年度見込	23年度又は終了年度		23年度以前に終了は終了年度とする
			44			
			現状又は19年度見込	23年度又は終了年度		
意図(成果は何か、対象をどうかえるか)	成果達成度を表す成果指標名と算定式・単位	成果指標の数値(実績・目標)				
安全に利用できる施設の提供(施設および機械、機具等の耐用年数の延長)	不具合の発生件数:(件)	18目標	最終目標			
		18実績	100	19目標	80	↑
		23目標	40	23実績		最終目標達成年度
		18目標		最終目標		
		18実績		19目標		↑
		23目標		23実績		最終目標達成年度

(2)意図を達成するために以下のことを取り組みます。

手段の記述	事業の全体概要(補足説明)	具体的活動内容(やり方、手順、詳細)	活動量を表す名称・単位	活動量の値
	社会体育施設(体育館、武道館、弓道場、運動場、野球場、アクアパーク、市民プール、B&G海洋センター、テニスコート、研修センター)における施設及び管理備品の改修、修繕、修理、設置を実施する。 平成18年度までは施設整備は社会体育施設整備事業費、修繕・改修を体育施設改修費で実施	総合運動場放送設備改修工事 防球ネット改修工事(今宮野球場・上郷運動場) 運動公園プール倉庫前舗装工事 体育施設照明修理、非常用発電装置整備、グランド整備用機械整備 施設案内表示看板改修、備品修理、体育施設修理、電気設備修理	工事請負費など:(千円)	6920
	18年度の実績			
	19年度計画	体育施設照明修理、非常用発電装置整備、グランド整備用機械整備、施設案内表示看板改修、備品修理、体育施設修理、電気設備修理 各種施設改修工事 備品配置	工事請負費など:(円)	

<金額の単位:千円>		18決算額(見込)	19予算額(当初)
事業費	特定財源		
	国庫支出金		
	県支出金		
	起債		
	その他		
	一般財源	5,600	5,600
	事業費計(A)	5,600	5,600
人件費	正規職員所要時間	18年度 200	19年度 200
	臨時職員等所要時間	0	0
	人件費計(B)	715	715
	トータルコストA+B	6,315	6,315

特定財源内訳や補足事項	
-------------	--

(3)この事業目的の達成は、次の上位(施策や主体の役割)目的の達成に結びつきます。

目的の記述	結果 この事務事業の施策(基本事業)の目的	上位成果指標(施策又はムトス指標)と単位	上位成果指標の数値			
	いつでも誰でもどこでも気軽にスポーツに親しむ 競技力が向上する	ウォーキングやスポーツを行っている市民(成人)の割合:(%)	現状値	35	19実績	
			20実績		21実績	
			22実績		23目標	45
			現状値		19実績	
			20実績		21実績	
		22実績		23目標		

この事業を開始したきっかけ 昭和36年に制定されたスポーツ振興法第12条により体育館、水泳プールその他のスポーツを政令の定める基準に達するよう整備のために努めなければならない、これに基づき社会体育施設の整備の取り組みを開始した。	事業を取り巻く状況の変化 ・建設から年数経過により修繕、改修を要する施設が増加している。 ・施設管理用機械、機具等備品の修繕が発生している。	事業に対する市民や議会の意見 市民・施設利用者からの意見として、照明の交換や施設の補修等軽微なものから施設の大規模改修、新設まで様々な要望がある。
---	--	--

### 【See】18年度の振り返り

目的 妥当性 評価	この事業の意図の達成か、結果(上位目的)に結びついていますか？ (評価) 結びつく (その理由) 体育施設の改修、設備機器・備品等の修繕により、安全で快適な施設の使用が提供できる。	有効性 評価	成果をさらに向上させる余地はありますか？ (評価) 余地がある (その理由) 修繕の素早い実施により、損害の拡大を防止することに努める。
	対象の見直し、拡大、縮小の必要性はありますか？ (評価) 必要性がある (その理由) 保有する体育施設の改修及び設備機器・備品等の維持管理について、毎年の調査と検討を加えつつ適正な見直しが必要である。		廃止・休止した場合の影響はありますか？ (評価) 影響あり (その理由) 安全で快適な体育施設を維持できなくなり、スポーツの振興に大きく影響する。
	意図の見直しの必要性はありますか？ (評価) 必要性がない (その理由) 安全で快適に利活用できる施設の提供を堅持していく必要がある。		他に類似事業はありますか？また統合の可能性はありますか(市以外の取組も含む) (評価) 統合不可能 (類似事業名、理由) 大規模な改修とは別に対応すべき課題であり、他の事業との統合などは不可能である。
	市が関与する必要性はありますか？(市が税金を投入すべき事業ですか) (評価) 必要ある (その理由) 市の所有する体育施設の改修及び設備機器・備品等の修繕であるため、管理責任を有する。		他に類似事業はありますか？また統合の可能性はありますか(市以外の取組も含む) (評価) 統合不可能 (類似事業名、理由) 大規模な改修とは別に対応すべき課題であり、他の事業との統合などは不可能である。
		効率性 評価	成果を下げずに、事業費や人件費の削減は可能ですか？ (評価) 不可能 (その理由) 積み残し修繕等が多数存在していて、削減の余地はない。
		公平性 評価	受益者は誰ですか？また、負担の是非、程度は妥当ですか？ (評価) 妥当である (受益者とその理由) 公共施設の改修のため、直接受益者から負担を求める事業には該当しないが、施設使用料等の一部を事業費に充当することは、妥当である。

### 【Plan】改革改善

今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的見直し <input type="checkbox"/> 別事業に統合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	何を、いつまでにどうするのかの改革改善案 緊急度、必要度を考慮して対応
上記の改革改善案を実施する際、想定される課題とその克服方法	経年劣化等により早急な修繕、改修していかなければならない施設が多く、毎年新たな事案が発生する状態であるので緊急性を考慮して順次修繕、改修を実施する。

#### 【補足事項環境側面】

(1) 環境影響評価の必要性判断	(2) 必要性な場合の実施事由
(3) どのような点に配慮し事業に取り組みましたか？	

#### 【指摘事項】

施策マネジメント会議	
施策評価会議	
第5次基本構想基本計画推進委員会	